

2020年度 第1四半期 決算説明会資料

2020年 8月4日

株式会社 ニッセイ

1. 2019年度決算の振り返り
2. 2020年度第1四半期 連結業績の概要
事業の概況（減速機事業/歯車事業）
3. 「CGN2021 2カ年」計画策定について
社長方針と3つの基本戦略
4. 2020年度 業績予想
設備投資・減価償却/研究開発費
5. 2020年度 配当予想

1. 2019年度決算の振り返り
2. 2020年度第1四半期 連結業績の概要
事業の概況（減速機事業/歯車事業）
3. 「CGN2021 2カ年」計画策定について
社長方針と3つの基本戦略
4. 2020年度 業績予想
設備投資・減価償却/研究開発費
5. 2020年度 配当予想

1.2019年度連結決算の振り返り

✓ 売上減少による粗利益の減少により減益

[単位：百万円]

	2018年度 実績 (A)	2019年度 実績 (B)	前年比 (B-A)	
			金額	率
売上高	19,336	16,570	△2,766	△14.3%
売上原価	14,670	12,960	△1,710	△11.7%
売上総利益 (率)	4,666 (24.1%)	3,610 (21.8%)	△1,056	△22.6%
販管費及び 一般管理費	3,948	3,478	△469	△11.9%
営業利益 (率)	718 (3.7%)	131 (0.8%)	△587	△81.7%
経常利益	745	113	△631	△84.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	520	399	△120	△23.3%

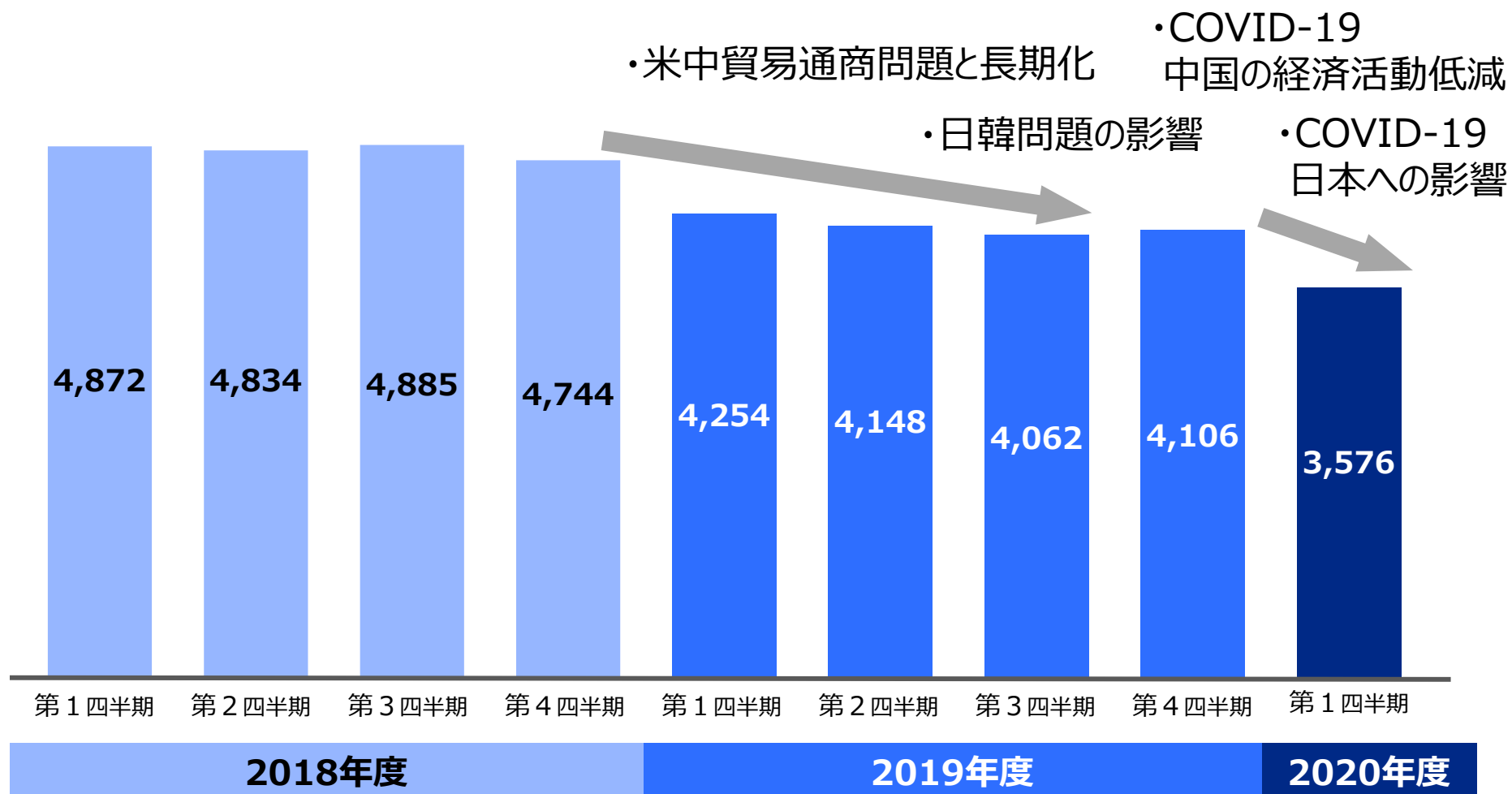
為替レート 2018年度平均 US\$ 110.89円 中国元 16.59円 韓国₩ 0.1001円
2019年度平均 US\$ 109.04円 中国元 15.71円 韓国₩ 0.0930円

※百万円未満切り捨て
※%表示は小数点第2位を四捨五入

1.2019年度連結決算の振り返り

2018年度から2020年度第1四半期までの四半期業績推移

[単位：百万円]



1. 2019年度決算の振り返り
2. **2020年度第1四半期 連結業績の概要**
事業の概況（減速機事業/歯車事業）
3. 「CGN2021 2カ年」計画策定について
社長方針と3つの基本戦略
4. 2020年度 業績予想
設備投資・減価償却/研究開発費
5. 2020年度 配当予想

2.2020年度第1四半期 連結業績の概要

✓ COVID-19の影響による設備需要の減退により、前年同期比減収減益

[単位：百万円]

	2019年度 第1四半期 実績 (A)	2020年度 第1四半期 実績 (B)	前年比 (B-A)	
			金額	率
売上高	4,254	3,576	△677	△15.9%
売上原価	3,330	2,755	△575	△17.3%
売上総利益 (率)	923 (21.7%)	821 (23.0%)	△102	△11.1%
販管費及び 一般管理費	919	854	△64	△7.0%
営業利益又は損失 (率)	3 (0.1%)	△33 (△0.9%)	△37	--
経常損失	△6	△24	△17	--
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△2	△16	△14	--

注)為替レート 2019年度1Q平均 US\$_110.77円
2020年度1Q平均 US\$_107.72円

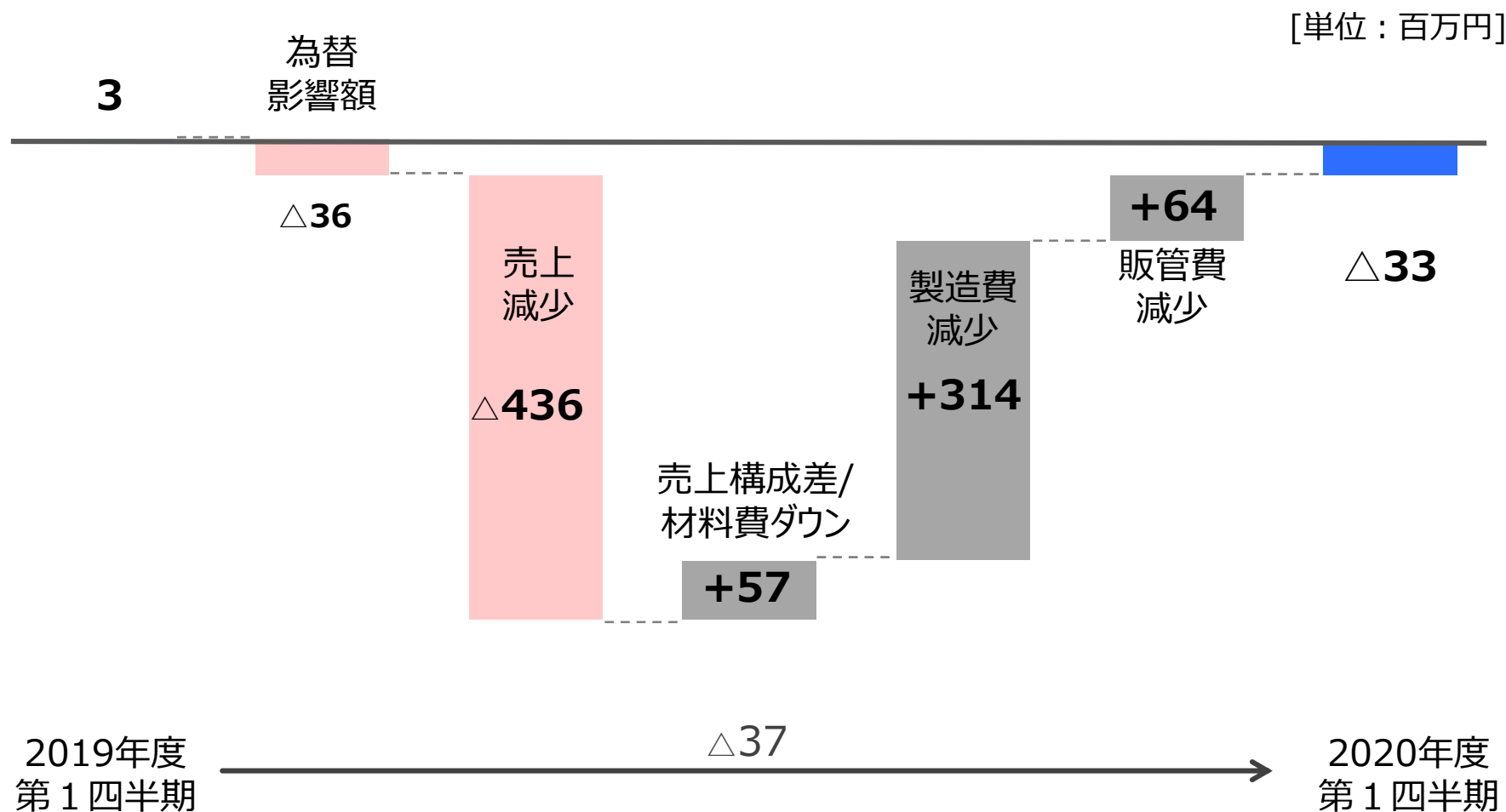
中国元_16.27円 韓国W_0.0956円
中国元_15.14円 韓国W_0.0882円

※百万円未満切り捨て
※%表示は小数点第2位を四捨五入

2.2020年度第1四半期 連結業績の概要

営業利益の増減要因

✓ 費用を削減するも、売上減少により赤字を計上

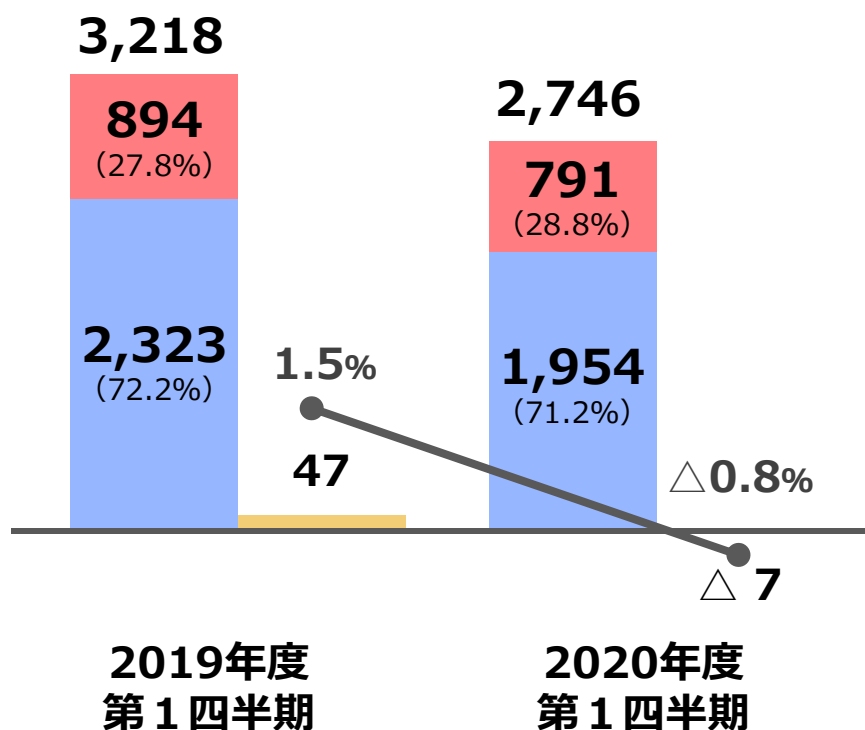


2.事業の概況（減速機事業 第1四半期）

✓ 国内の主力製品の売上が低迷し、減収減益

◆ 売上高・利益の推移 [単位：百万円]

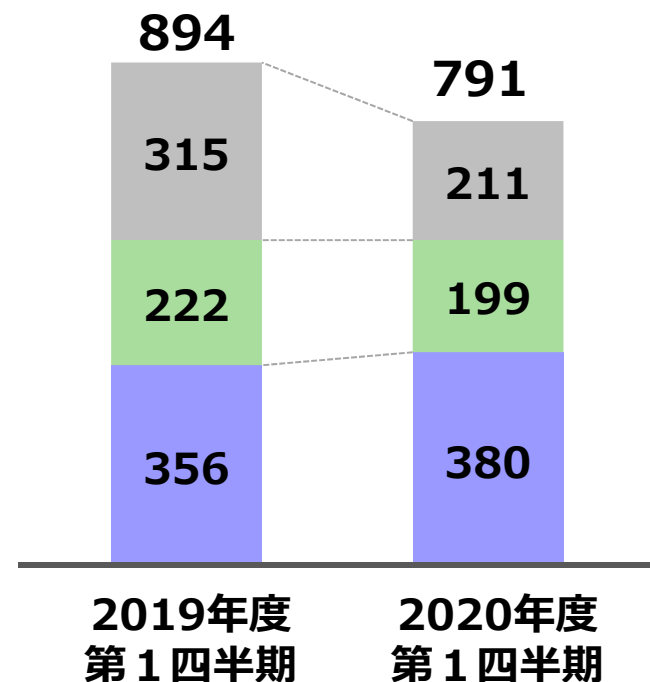
■ 国内売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率
■ 海外売上高 () 書きは売上高に占める割合



国内

主力のインダクション製品の売上が業界を問わず落ち込み減収

◆ 海外売上高 [単位：百万円]



その他

主に韓国向けの売上が減少

中国

都市のロックダウンと休業により減収

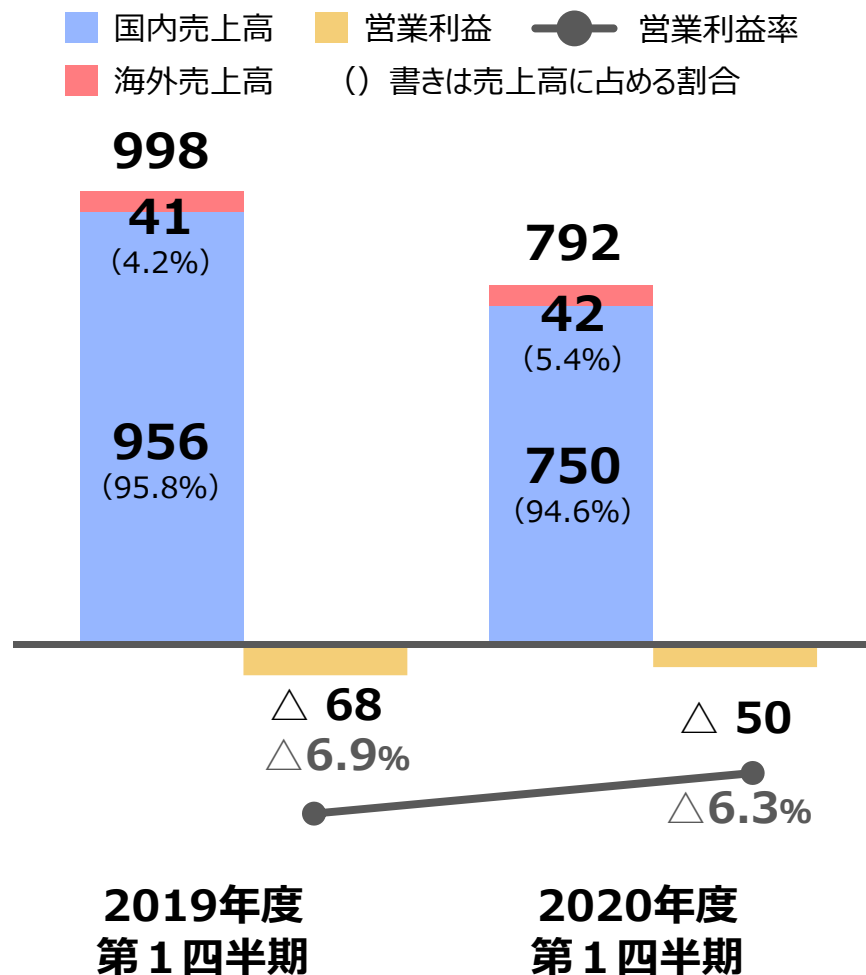
米国

前年度末の食品機械向け大口注文の出荷があり増収

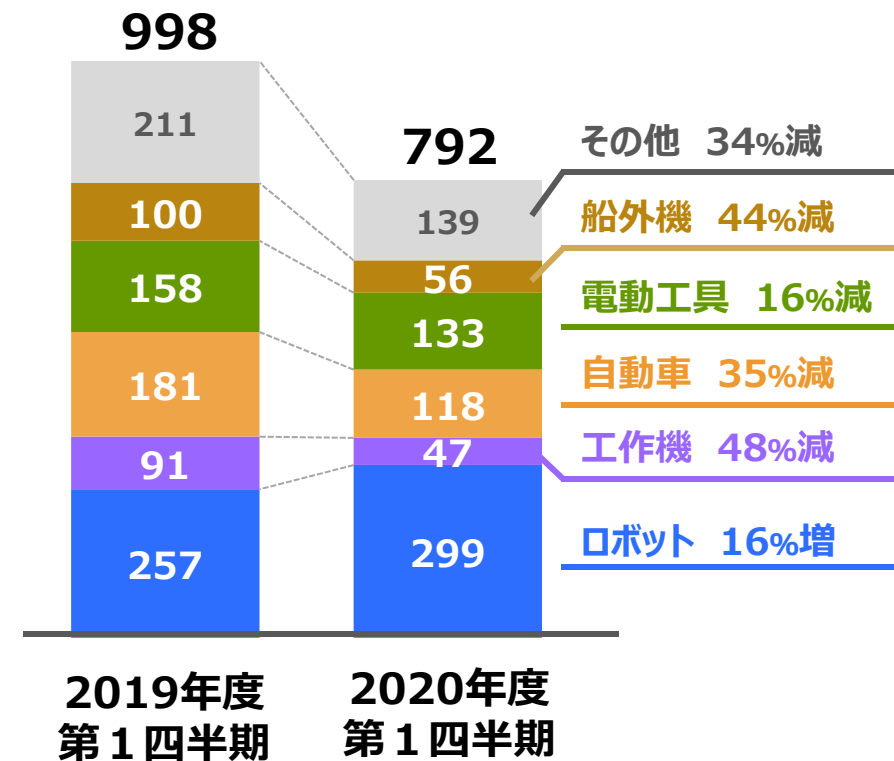
2.事業の概況（歯車事業 第1四半期）

✓ 主要取引先の生産調整の影響を受けたが赤字幅は減少

◆ 売上高・利益の推移 [単位：百万円]



◆ 業種別売上高 [単位：百万円]



採算性の高い、ロボット向けが堅調に推移するも、その他業種で売上が低迷

1. 2019年度決算の振り返り
2. 2020年度第1四半期 連結業績の概要
事業の概況（減速機事業/歯車事業）
- 3. 「CGN2021 2カ年」計画策定について
社長方針と3つの基本戦略**
4. 2020年度 業績予想
設備投資・減価償却/研究開発費
5. 2020年度 配当予想

3.「CGN2021 2カ年」計画策定について

Vision2025 について

変革と挑戦のスローガン「Change Gears」
を継続しつつ、達成時期については再考します



3.「CGN2021 2カ年」計画策定について

「CGN2021 2カ年」計画の基本方針を策定しました

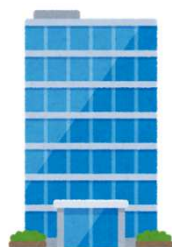
**CGN2021
2カ年**

営業利益率を安定的に確保することができる
収益力を持つ、変化に対応可能な筋肉質な企業へ

先行き不透明な経営環境が
継続する状況においても、利益を生み出せる体制強化が重要

CGN2021

お客様から信頼され続ける企業へ

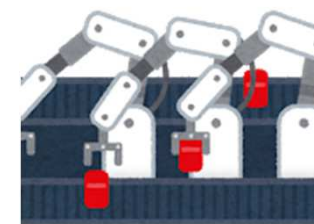


得意先： 商社/二次販売店

パートナー



機械製造メーカー



食品等の各種製造メーカー

私たちの作る製品を使っていただくお客様

3.「CGN2021 2カ年」計画策定について

社長方針

厳しい事業環境においても営業利益率を安定的に確保し
継続的な企業成長を実現する

CGN2021 2カ年

営業利益率を安定的に確保することができる
収益力を持つ、変化に対応可能な筋肉質な企業へ

先行き不透明な経営環境が
継続する状況においても、利益を生み出せる体制強化が重要

CGN2021

お客様から信頼され続ける企業へ

3. 社長方針と3つの基本戦略

社長方針

厳しい事業環境においても営業利益率を安定的に確保し
継続的な企業成長を実現する

以下3つの基本戦略にそって、展開を図ります。

1

業績の見える化を行い、伸ばすべき
重点領域を明確にします

2

安定した利益を生み続けるための
事業基盤を整備します

3

新製品、新技術、新事業創出の
スピードアップと質の向上を図ります

3. 社長方針と3つの基本戦略

業績の見える化を
行い、伸ばすべき
重点領域を明確
にします

製品別・顧客別・エリア別の採算性を徹底分析を完了し、
伸ばすべき重点領域に集中的投資

減速機事業

◆ 採算性の重視

- ・ 不採算顧客・製品の価格改定/撤退

製品別（標準品・OEM品）

エリア別（日本・中国・米国・韓国）

◆ 伸ばすべき重点領域

低電圧バッテリー電源タイプ製品(AGV他)



歯車事業

◆ 採算性の重視

- ・ 不採算顧客・製品の価格改定/撤退

◆ 伸ばすべき重点領域



ロボット



工作機械

- ・ 重点業界の売上比率アップ、採算性の向上
- ・ 医療/ヒト協働ロボット向け歯車売上拡大
- ・ 新規業界開拓/小径・小モジュールの需要開拓

3. 社長方針と3つの基本戦略

安定した利益を
生み続けるための
事業基盤を整備
します

海外事業の収益力強化と徹底的な原価低減活動を
推進するとともに、成長に向けた投資の実現

減速機事業

海外
基盤

米国/中国事業の採算性重視

- ・特定業種への活動強化（AGV等）
- ・採算性の高い製品への販売シフト

生産
基盤

グローバル生産体制の実現

- ・中国工場の地産地消と現調化推進

収益
基盤

既存製品の競争力向上
(VA・VEによる原価低減)

歯車事業

収益
基盤

工程集約による原価低減

- ・作業、検査工程の見直し、合理化
- ・工程集約によるリードタイム短縮

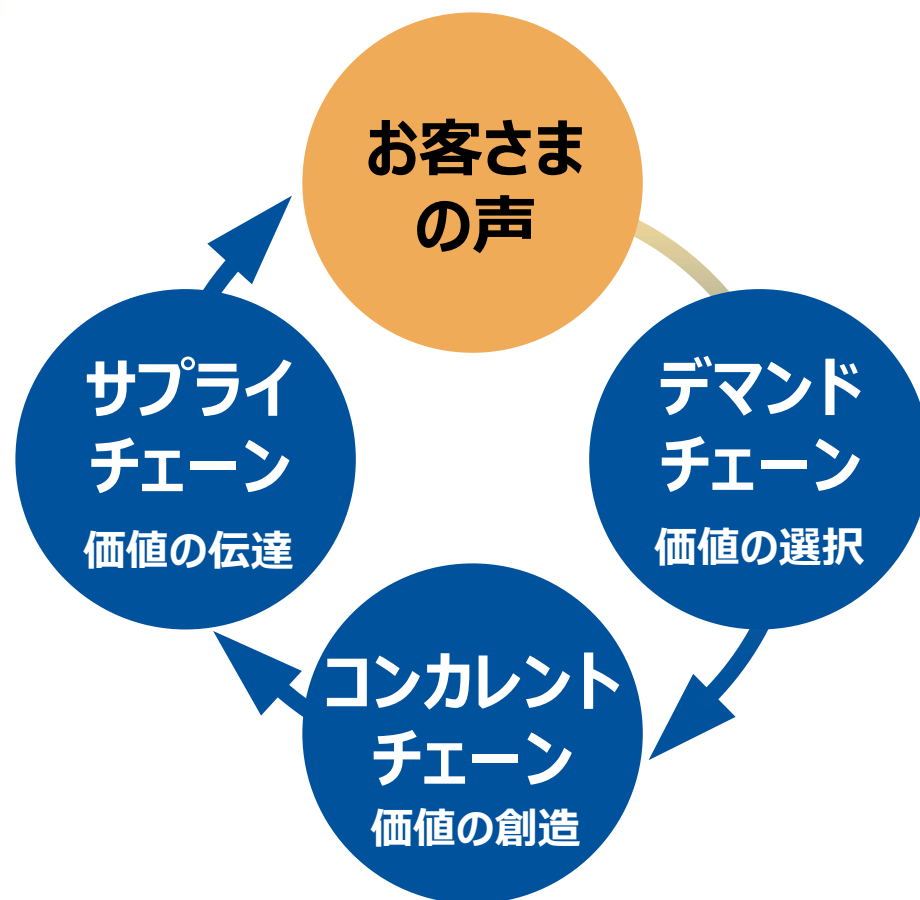
収益
基盤

品質費用削減による原価低減

3. 社長方針と3つの基本戦略

新製品、新技術、
新事業創出の
スピードアップと
質の向上を図ります

開発プロセスにおいて各部門が、顧客価値実現のため
果たすべき「目標」をコミットし
責任を持って、「次のステージへ」繋げるしくみを構築



1. 2019年度決算の振り返り
2. 2020年度第1四半期 連結業績の概要
事業の概況（減速機事業/歯車事業）
3. 「CGN2021 2カ年」計画策定について
社長方針と3つの基本戦略
- 4. 2020年度 業績予想**
設備投資・減価償却/研究開発費
5. 2020年度 配当予想

4.2020年度 業績予想

マクロ

- ・ 政府による緊急事態宣言解除を受けて、経済活動は徐々に再開
- ・ 自動車、工作機械業界における緩やかな回復傾向の顕在化
- ・ 中国における回復傾向の顕在化

当社

減速機事業

第3四半期以降緩やかに回復し、
第4四半期から回復見込み

3Qから回復 自動省力機、食品機械、など

4Qから回復 工作機、搬送機械、など

歯車事業

多くの顧客で回復の兆候、
第3四半期から需要回復を見込む

3Qから回復 農機具、自動車向け、など

4Qから回復 工作機向け、など

4.2020年度 業績予想

✓ 売上減少の影響を最小限にし、黒字確保

[単位：百万円]

	2019年度 実績 (A)	2020年度 業績予想 (B)	前年比 (B-A)	
			金額	率
売上高	16,570	14,830	△1,740	△10.5%
減速機	12,449	11,240	△1,209	△9.7%
歯車	3,968	3,440	△528	△13.3%
賃貸	151	150	△1	△1.3%
営業利益 (率)	131 (0.8%)	10 (0.1%)	△121	△92.4%
減速機	257	140	△117	△45.7%
歯車	△226	△230	△3	--
賃貸	100	100	0	△0.4%
経常利益	113	30	△83	△73.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	399	20	△379	△95.0%

注) 為替レート 2020年度(2Q以降) 予想レート

US\$_106.00円 中国元_15.5円 韓国W_0.0869円

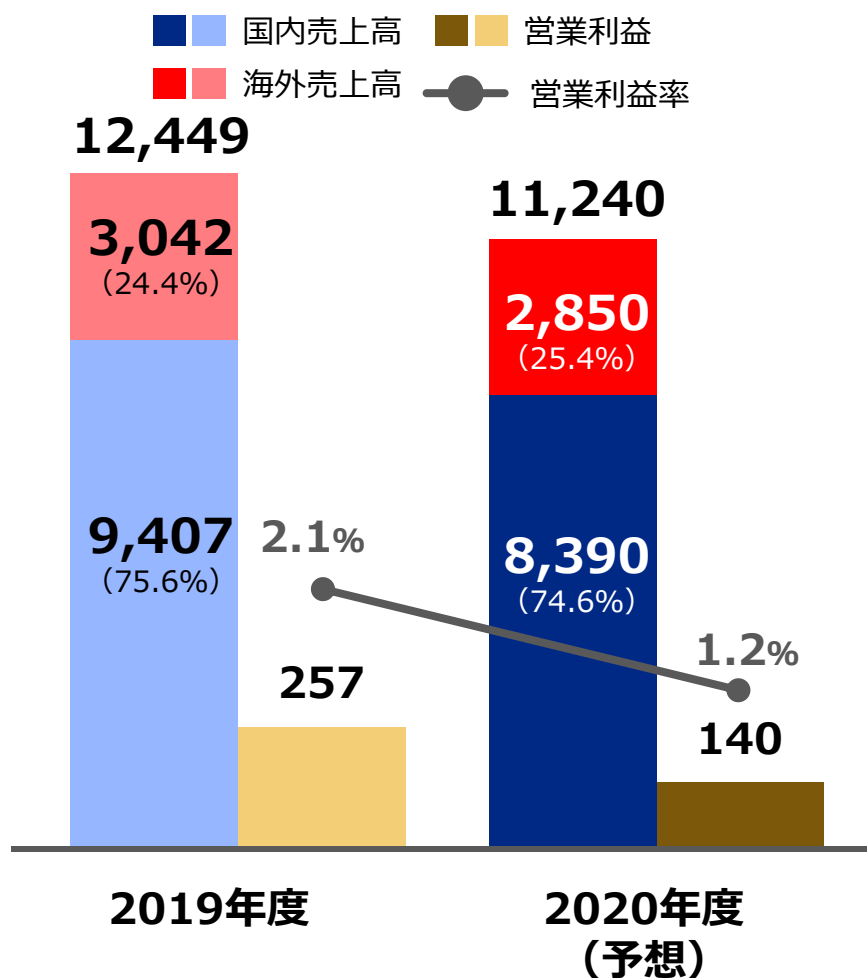
※百万円未満切り捨て

※%表示は小数点第2位を四捨五入

4.2020年度 業績予想（減速機事業）

✓ 売上が減少しても、黒字を確保

◆ 売上高・利益の推移 [単位：百万円]



◆ 重点活動

不採算製品の価格改訂

伸ばすべき重点領域への参入

海外事業の採算性向上

グローバル生産体制の実現

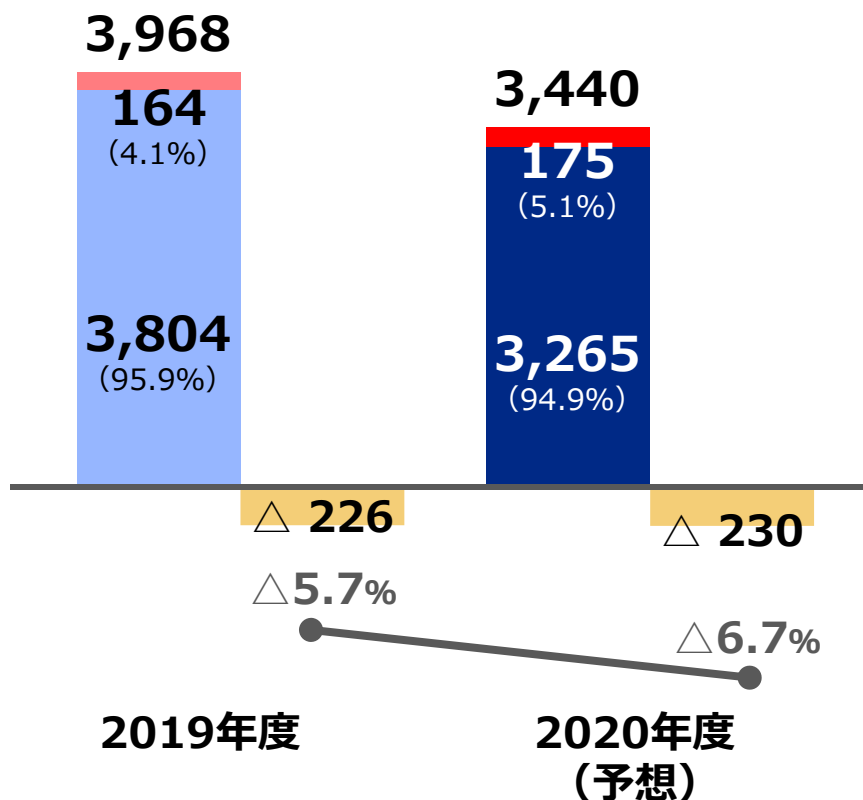
既存製品の競争力向上
(VA・VEによる原価低減)

4.2020年度 業績予想（歯車事業）

✓ COVID-19の影響により減収だが、費用削減を実施

◆ 売上高・利益の推移 [単位：百万円]

■ 国内売上高 ■ 営業利益
■ 海外売上高 ● 営業利益率



◆ 重点活動

不採算製品の価格の改訂

重点業界の売上比率の向上

原価低減

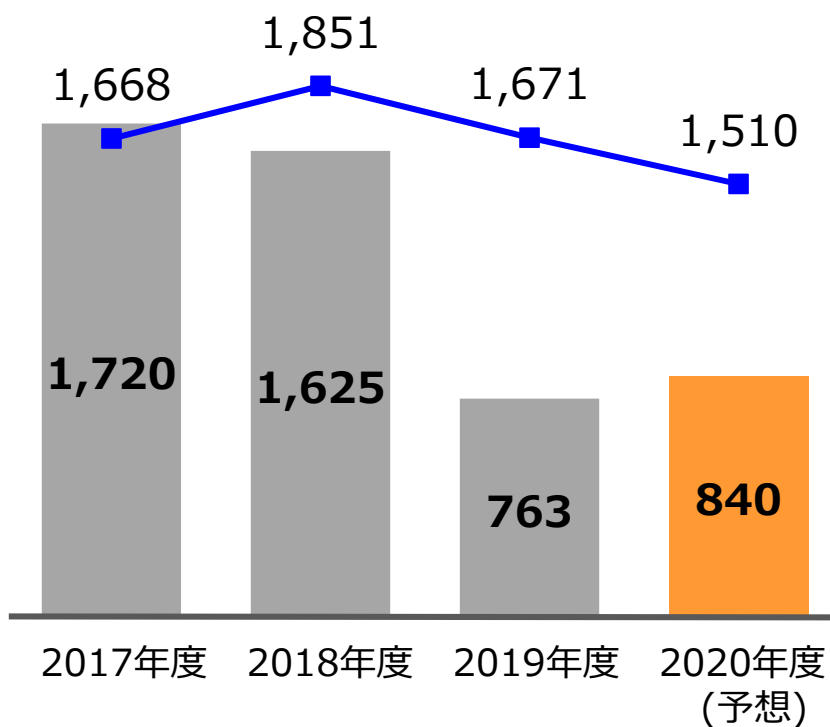
- ・工程集約による原価低減
- ・品質費用削減による原価低減

4. 設備投資・減価償却 / 研究開発費

設備投資額および減価償却費

✓ 重点方針に絞った設備投資

■ 設備投資額 ■ 減価償却費 [単位：百万円]

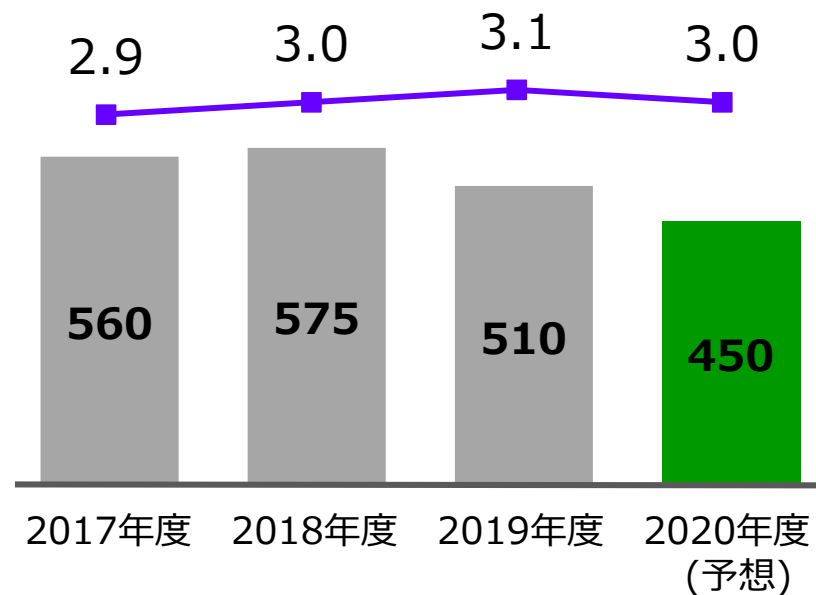


研究開発費および開発費率

✓ 主力事業への投資額は不変

■ 研究開発費 [単位：百万円]

■ 売上対比 [単位：%]

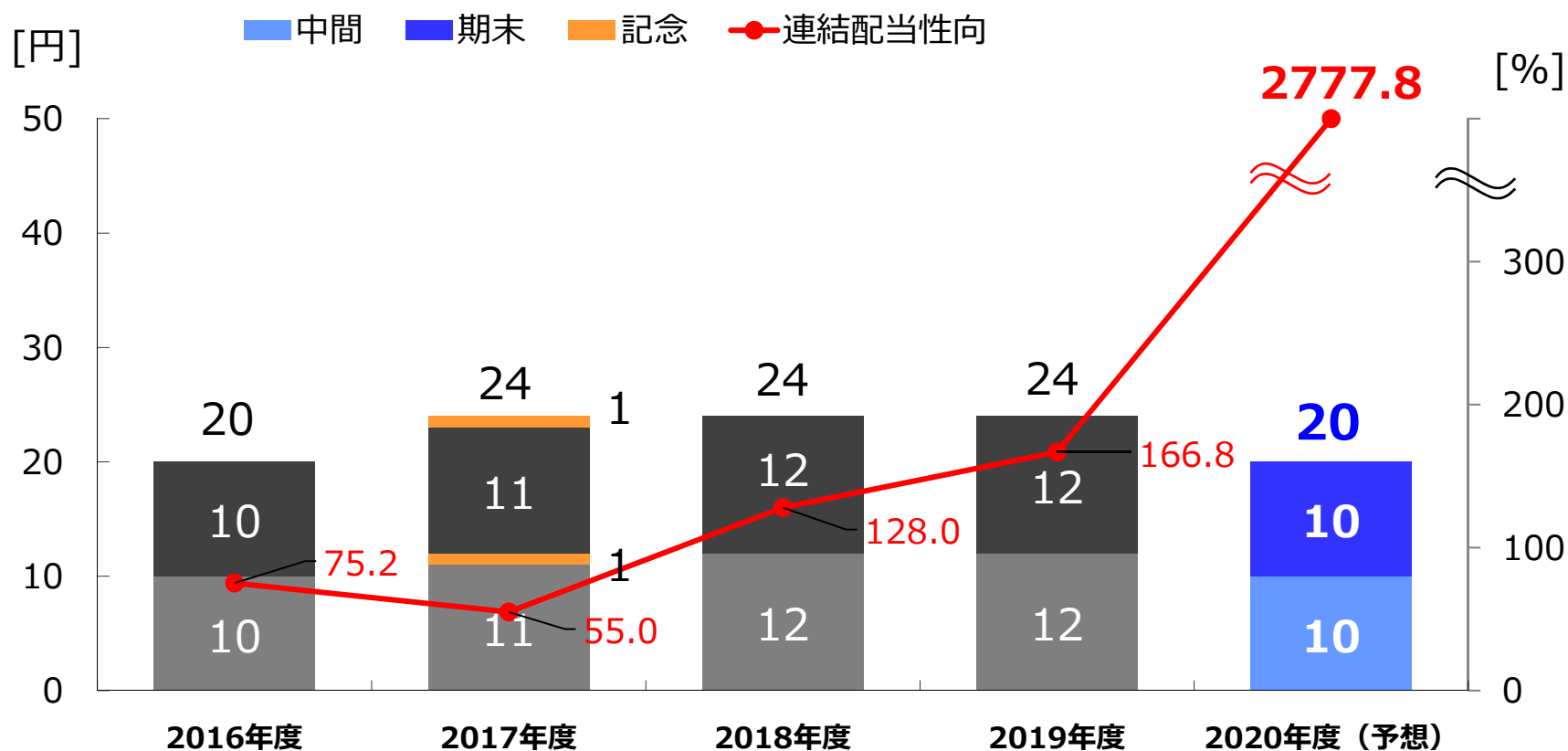


1. 2019年度決算の振り返り
2. 2020年度第1四半期 連結業績の概要
事業の概況（減速機事業/歯車事業）
3. 「CGN2021 2カ年」計画策定について
社長方針と3つの基本戦略
4. 2020年度 業績予想
設備投資・減価償却/研究開発費
5. 2020年度 配当予想

5.2020年度 配当予想

配当政策 「連結配当性向50%以上を目標とし、
株主資本配当率(DOE) 1%程度を配当の下限水準として配当を決定する」

年間配当金予想 1株あたり年間配当金20円見込み [中間10円・期末10円]



nissei

Gear Technology Revolution

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。

従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本及び海外の景気動向、COVID-19の動向、日本の製造業の業績動向、他の製造業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。